

令和4年8月22日

会議メモ

喜平地域センター10:55-12:00

参加者：9名

道場関係：S、N、N（オンライン）

小平市：佐藤課長、市課長補佐、市課長補佐、吉井（道路課）ほか1名

小平市議：安竹（記）（順不同・敬称略）

配布資料：

- ・ 考える会から市に提出した資料
 - 市民ワークショップを開催しました
 - （仮称）佐川合気公園整備計画案平面図
 - 考える会への確認事項（220602 小平市工事担当部署も加えた協議にて）への回答
 - 提案に伴う小平市への引継ぎ事項
 - 顕彰碑概算見積
 - 小平市佐川合気公園 園名碑デザイン案
 - 鬼瓦利用三つのアイデア
- ・ 市からの資料
 - 諸施設配置図（案）

注記：この会議メモはなるべく正確に記録しているつもりですが、市側に内容を確認してから公開しているものではありません。

市

- ・ 考える会と細かい部分を調整しながら詳細設計を進める時間的余裕がないため、今後は会からの要望をふまえて、市の方で設計を進めていきたい。ご一任いただかないとスケジュールとして時間がないのでご理解いただきたい。
- ・ 公園の地盤の高さについて。事前に鈴木（ランドスケープデザイナーの鈴木稜氏）さんを通して考える会からご了解いただいたことでもあるが、西に向けてせり上がる形で土を盛ることを考えている。すべてフラットにすると大量の土砂を搬出する作業が必要で、場合によっては数百万円かかる。工事が出る土はできる限り公園内で使っていきたい。また、公園の中央部（諸施設配置図（案）で「スロープ」「〒」等と書かれた部分）より北側を30cm～40cmを高くすることを考えている。こうすれば土を搬出せずに済む。草地広場は広場として使える。
- ・ 東西の高低差はなるべくなくす。都市公園法に則って、バリアフリーの観点から、最低限守らなければならない勾配などがあるので、そういうものは順守していく。
- ・ 西側と東側の高さは決まっているので、若干西から東に下っていくことは現況、大きくいじらない予定。北側についても。西側のフェンスを設置するところは、既存の隣地住宅との高低差があるので、土を少し寄せるような形で整備し、そこにも植栽していく形。

S

- ・ 西側隣地との境界部があまり段差にならないような形にするということか。

市

- ・ 西側のお宅との段差を少し解消するような形で考えている。
- ・ 既存の樹木について、隣地との境界付近に立っている木については、フェンスを設置する支障になるので、切らなければならないものが出てくる。特に西側と南側の樹木は伐採の必要あり。
- ・ 西側の樹木は隣地の方から切らないでほしいという要望があるとのことなので、しっかりご説明し、新たな木を植えるなどで調整していく。
- ・ 新たに植える木は、東京都からの苗木供給を使って、なるべく費用軽減したい。
- ・ 日本庭園部分にも、庭園にそぐわない木が生えて来ているので、場合によっては手を入れる必要もあるのかなど。近隣住民の方の思いがああたりに強いかなと思うがご理解いただきたい。
- ・ 日本庭園は一部なじまない樹木を伐採する必要があるが、可能な限り現状を保存する。灯籠は撤去したい。仮に残すとしても低い方だけ残すというのが我々の考え方。灯籠を残す場合は、なるべく人が入らない形で、何らかの柵をする必要があるかなど。完全に入れないのは庭園の形が損なわれるので、擬木とロープで中に入らないでということを示すことになるのかなど。それでも子どもたちが入って、灯籠に登ってジャンプするようなことはよくあること。万が一、倒れたときのことを考えると残すのは難しい。
- ・ 灯籠は高価なものなので売却して公園の費用に当てられないかという話もあったが、市では売る手立てがないので、売るのであれば考える会の方でお願いしたい。

S

- ・ 灯籠は高価なものということなので、できるだけ残してもらいたいが、市の方でどうしても残せないということであればやむをえないと、以前も回答したところ。

市

- ・ 公園の安全性を考えた場合、灯籠を両方とも残すのはハードルが高い。

S

- ・ 現場で灯籠がグラグラ動く状況を確認したが動く部分の接着は難しいか。

市

- ・ 接着したとしても、倒れるときは同じ。地面からしっかり固定しないと。公園なので子どもが触ってみたり動かしたりする。最初は動かなくても、どんどん振動が強くなってくると、倒れてしまうこともある。補強については、なかなか費用的なものもかかってくるので、厳しいかなど。
- ・ やるとなったら、施工というところで、見積もりというところで、できるのかという判断が。中に芯を通すという話もあったが、あの石に穴をあけられるのかというところもある。単純に金額だけで、できるのか、できないかの判断が難しい気がする。
- ・ こういった金額だから、高すぎるからできない、という説明はなかなか難しい部分なのかなど。
- ・ 事故があったら怖いところなので。
- ・ 今後、佐川先生の顕彰碑も立てる中で、その事故というところも困るし、道場関係者の方でも本望ではないのかなというところもある。

S

- ・ 市から灯籠は撤去するという明確な考えは伺ってなかったので、当方で改めて検討する。

市

- ・ 道場があった部分は園路と同じ高さにしたうえで、なんらかの舗装ということで考えている。インターロッキングとか、やわらかくて畳を想起させるものがよいなどという希望があったが、ゴムチップ舗装など、大分金額に差が出てくる。できればここはご一任いただきたい。

S

- ・ 道場跡地に相当する部分は全面舗装ということでよいか。

市

- ・ そうですね、園路から入っていけるようにしたい。

N

- ・ 安全性第一で。

S

- ・ 舗装の材質は園路と同じでも色を変えるなど。道場の場所が分かるようにしてもらえれば良い。

市

- ・ 先ほどご説明した北側は高くして南側は低くするというところは、30cm～40cmの段差がつくが、ずっと段差があると行き来がしにくくなるので、ひとつはスロープか階段を設ける。他の部分は植栽を設けて通行ができないようにするが、すべてそうすると一体感がなくなるので、道場跡地の北側は（諸施設配置図（案）では段差になっているが）ゆるい傾斜をつけて一体感を生む作りがよいかなと。段差ではなくスロープ。あまり傾斜がつくとバリアフリーの問題があるので、緩いもの。
- ・ 顕彰碑について。基本的には提案いただいた形を採用しいと思っている。文言は決まっているか。

N

- ・ まだ決まっていない。

S

- ・ いつまでに決める必要があるか。

市

- ・ なるべく早めがよい。
- ・ 提出された顕彰碑の概算整備費 123 万 5 千円という金額は、市から発注をしたとしてもこの金額でできるものなのか、知り合い価格として出されたものなのかというところで違ってくる。文言の削りだしも含めてこの金額でできるものかが、設計の段階では必要。

S

- ・ 今回見積もりを出した業者をご紹介すればよいか。

市

- ・ そうしてもらえると助かる。

N

- ・ ブロンズ銘板と、石の施工業者はそれぞれ別に見積もりを取った。ブロンズ銘板の業者は石屋ともつながりがある。組み合わせの便宜はきいてみないと分からないが、参考価格としてはこの値段で出してきた。

市

- ・ 両方の会社を、後ほどでよいので紹介していただきたい。
- ・ 顕彰碑の文言が変わることによって金額が変わったりすると困るが、変わらなければ文言は後でもよい。文字数が決まっていれば。

N

- ・ ブロンズ銘板は鋳造するので、文字数というより全体の大きさかと。

市

- ・ メーカーを教えていただければ、そのあたりの影響がどこまであるのか確認したい。

S

- ・ のちほど連絡する。文言も、ひと月中くらいであればよいか。

市

- ・ 9月いっぱいくらいでいただければ非常に助かる。
- ・ 鬼瓦を利用した園名碑デザイン案は予算次第で、いまやっているクラウドファンディングにもよるのかなど。いくらくらいになるか。

S

- ・ 「園名碑デザイン案」は鈴木さんの方で業者から提案していただいたもので当方で見積もりは把握していない。
- ・ 我々としては「鬼瓦利用三つのアイデア」にある道場の鬼瓦を横に使っていただくアイデアでと考えている。

市

- ・ 「鬼瓦利用三つのアイデア」のイラストで、レール付きのゲートは要らないということよいか。

N

- ・ ゲートの施工として使うならこういう形かなと。こちらとしては壁と瓦の関係は通常の瓦と同じ扱いでよいのではと。それを案内板にするかしないか、ゲートにするかしないかは別の問題。「園名碑デザイン案」にあるように正面に鬼瓦を持ってくるほど特徴のあるものではないと思っている。それだと逆に意味性が強くなりすぎる。利用するならさりげない利用かなと。

市

- ・ 鬼瓦は一对（2個）あるが、その間の連続する瓦の部分は改めての製作になるかと。金額の見積もりが、どれくらいかかるかによると思うが、こういったイメージがよいということか。

S

- ・ 鬼瓦の間の部分は色や形を合わせるなど大変かもしれない。

N

- ・ フェイクのような形でもよいかなど。

S

- ・ どうしても予算等の関係で使いにくいということであれば…。

市

- ・ 予算等で利用が難しければ道場側でひきとっていただいても？

S

- ・ はい。

市

- ・ 「鬼瓦利用三つのアイデア」のパーゴラの場合は相当お金がかかると思っている。この形だと建築基準法上、申請や費用の面で難しいと。

S

- ・ これは一応アイデアとしてお伝えしたものであるので拘るものではない。

市

- ・ 住民への説明だが、公園の整備内容の説明会は、来年度の工事前に、3月か4月には必ずやるが、それとは別にもっと早い段階で説明して、地域の意見を設計に反映させるようなことはスケジュール上かなり難しいかなと思っている。
- ・ たとえば、地域の方に、チラシのようなものをまいて、現段階ではこういうものですよとして、ご意見や質問があれば連絡くださいという形なら可能なかなと思う。実施設計は詳細な図面を作成する段階で、意見を聞いて反映する段階ではないので、そのあたりはご了承ください。
- ・ 説明会の前に意見徴収のための場を設けるのは難しいとご了解いただきたい。
- ・ 説明会で意見があっても変更はできない。

S

- ・ チラシを配っていただくとするといつ頃になるか。

市

- ・ ある程度絵的なものがないとチラシ配布をしても意味がないので、予定では年末前後。

S

- ・ チラシ配布の時期を教えていただければ、配っていただいた後で、考える会で皆さんの意見を頂くということを我々の方でやろうかなと思う。

市

- ・ その段階では図面が精緻にできあがっている。意見を頂いても大きな変更は無理で、小さなものであれば大丈夫だが。

S

- ・ 業者からの設計の納期は

市

- ・ 来年の2月末。

S

- ・ チラシは是非配布いただくことにして、配布時期が決まったら教えていただきたい。

市

- ・ 公園名について「佐川合気公園」というご希望を頂いているが、市としては固有名詞を入れるのは難しく、「合気公園」で進めたいと考えている。

S

- ・ 「佐川合気公園」は近隣住民の方に強い希望があるので、市からよく説明していただきたい。
- ・ 「鬼瓦利用三つのアイデア」のイラストにあるように「(旧佐川幸義邸)」のように副題的に入れることは考えられるか

市

- ・ 市に寄付してくださったのはご子息なので「(旧佐川邸)」であれば可能かもしれない。

S

- ・ 「合気公園 (旧佐川邸)」と副題として入れる方向でよければ、住民の方に説明してみたい。

市

- ・ 案内板についてはどういうご希望があるか。

S

- ・ 一般的に案内板が公園の入口にあると思うが、そういうところに、公園のゆかり、道場があった場所、佐川先生が鍛錬された石などの説明を書いていたきたいというところ。

市

- ・ 改めてうちの方でも検討する。
- ・ 市の一般的な取扱いで、500 m²以上の公園では、やわらかいボールでコントロールできる程度のボール遊びなら許可しようと思っているが、そういう一般的な扱いでよいか。ボール遊びができないように広場部分に小山をもうけてほしいという話もあったと思うが。

S

- ・ そこは無理のない範囲でよい。

安竹

- ・ 札幌市中央区の『中島公園』には複数の灯籠がある。[札幌市役所／建設局／みどりの推進部／みどりの管理課]の担当者に、次のように教えてもらった。
 - 中島公園にある複数の灯籠については、特に固定などの処理はしていない
 - 大人が力を入れて倒そうとしたり、大人数で倒そうとすれば倒れるが、子ども一人の力ではなかなか倒れない
 - 人が入りにくいような植栽がある場所もあるが、特にそういったところのない場所もある
 - 私たちであれば、公園の予定地に灯籠があるならば、貴重な灯籠だと思うので、まず、そのまま残すことを考える
 - 子どもが登る可能性があるなど安全面で懸念があるなら、周りにロープのようなもので囲いをつけ、注意書きをするなどする。自治体の考えそれぞれだが、私たちであれば、まずはそういうことを考えて、撤去することは、老朽化が進んでいる、傾いているなどの問題があるときには考えるが、まずはそのまま残すことを優先する

S

- ・ 灯籠については他市の例もふまえて再検討をお願いしたい。

市

- ・ 注意書きは、ラミネートだと景観にそぐわないところも。
- ・ 井戸は設置しないが要望としてあるということで扱う。「諸施設配置図 (案)」でもその場所は空いている。
- ・ 防犯カメラ又はダミーは設けない。
- ・ 東南の角は隅を切ってミラーを設置してほしいという話だったが、フェンスのつくりで見通しを確保することで、安全面は確保する。

S

- ・ セットバックで道路が広がるので隅切りとミラーは不要かなと鈴木さんもおっしゃっていた。

市

- ・ 野鳥が来る場所にしてほしいという要望については、東京都の苗木供給も受けるので、特に野鳥が来る樹木を選定することは難しいかなと思うが、そこはご理解いただきたいと思う。

市

- ・ 顕彰碑は「顕彰碑概算見積」にあるとおりで確定してしまっているのか。ある程度幅はあるのか。サイズ感的にもそうだが、石の形状、種類、色合的なものも含めて、大体こういったものという希望と捉えればよいのか、あくまでこの通りでということかという部分は。

S

- ・ 顕彰碑の碑文を人が見やすいように、ある程度の高さがほしいという点はある。

N

- ・ 色にはこだわっていない。銘板の文字が経年変化で石に直接掘ると見えづらくなるということを石屋も言っていたので、銘板の色の方が重要かと。真壁石は国産で流通量が多いから、比較的手に入りやすく安いのかなということを選んだ。色についてはそれほどこだわりがあるわけではない。業者の意見としては、ある程度高さがあつた方がよいと、ノーマルなデザインを望んでいたもので、その形にまとめた。

市

- ・ 高さ 1.5m、幅が 60cm くらいのイメージで、大体こういった仕様で考えたらよいということか。

S

- ・ はい。まったくこれと同じでなければならないということではない。

市

- ・ フェンスは随時近隣の方と高さや形状を調整している。全員に会うことができた。

S

- ・ 以前お話したように、オオバさんに我々がやってきた経緯を理解していただき、ある程度尊重してもらいたいという希望がある。一応、現状では、我々の方で一回連絡してみて、話を聞いてもらえるなら話をしてみたいと考えている。オオバが困るということであれば無理強いはできないが。

市

- ・ 経緯は、今回契約した後の打ち合わせの中ではしてもらっているようなので（Y氏の担当の様子）。

S

- ・ そこは過度なハレーションにはならないようにするが、我々のやってきたことは理解していただきたいというところがあるので、可能な限り連絡させていただく。

以 上